

MEIKAI-JOEプラス 第2回講座

[2021年8月2日]

「読むこと」「書くこと」の指導

愛知県立大学 池田 周

本講座の目的

- ① 小学校「外国語活動」「外国語」を通して育成を目指す文字に関する技能、および「読むこと」「書くこと」の資質・能力を理解する
- ② 小学校外国語教育における「読むこと」の指導のポイントを理解する
- ③ 小学校外国語教育における「書くこと」の指導のポイントを理解する
- ④ 小学校における英語の「読むこと」「書くこと」の評価のポイントを理解する

小学校外国語教育を通して
文字に関係することについて
「何かができるようになる」のか
そして、それを「どのように」指導するか

小学校学習指導要領(平成29年告示)

第10節 外国語

第2 各言語の目標及び内容等

英語

2 内容

[第5学年及び第6学年]

[知識及び技能]

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、次に示す言語材料のうち、1に示す五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

中学校学習指導要領(平成29年告示)

第9節 外国語

第2 各言語の目標及び内容等

英語

2 内容

[知識及び技能]

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して、**小学校学習指導要領第2章第10節外国語第2の2の(1)及び**次に示す言語材料のうち、1に示す五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

小学校学習指導要領(平成29年告示)

ア 音声

次に示す事項のうち基本的な語や句, 文について取り扱うこと。

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音の変化
- (ウ) 語や句, 文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

イ 文字及び符号

- (ア) 活字体の大文字, 小文字
- (イ) 終止符や疑問符, コマなどの基本的な符号

新中学校学習指導要領(平成29年告示)

ア 音声

次に示す事項について取り扱うこと。

- (ア) 現代の標準的な発音
- (イ) 語と語の連結による音の変化
- (ウ) 語や句, 文における基本的な強勢
- (エ) 文における基本的なイントネーション
- (オ) 文における基本的な区切り

イ 符号

感嘆符, 引用符などの符号

「文字」は _____ の学習内容に

中学年「外国語活動」

- ◆ 文字の「名称」が発音されるのを聞いて、それを表す活字体の文字を識別することができる。
- ◆ 「聞くこと」の目標であることから、必ずしも「活字体の文字を見て、その名称を発音できる」ことは求められていない。

- ア ゆっくりはっきりと話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。
- イ ゆっくりはっきりと話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。
- ウ 文字の**読み方**が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが**分かるようにする**。

この目標では、英語の文字の名称の読み方に児童が気付くようにすることを求めたものであるが、**文字の名称の読み方を指導することは、身の回りの物を表す語句を指導することと同様**であることに留意する必要がある。例えば、k という文字の名称の読み方 (/kei/) を聞いてどの文字かが分かるようにすることは、red という色を表す語の発音を聞いて色を識別したり、apple という果物を表す語の発音を聞いてどの果物のことかが分かったりするように指導することと同様である。**明示的に文字の形を指導したり、英語の文字をアルファベット順に暗記させたりするのではなく、英語に初めて触れる段階であることから、児童が文字に対して興味・関心を高めるように、まず、身の回りに英語の文字がたくさんあることに気付かせるなど、楽しみながら文字に慣れ親しんでいくように、文字を扱うことが重要である。**また、この項目は、高学年の外国語科(2)「読むこと」ア「活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする」ことにつながるものである。

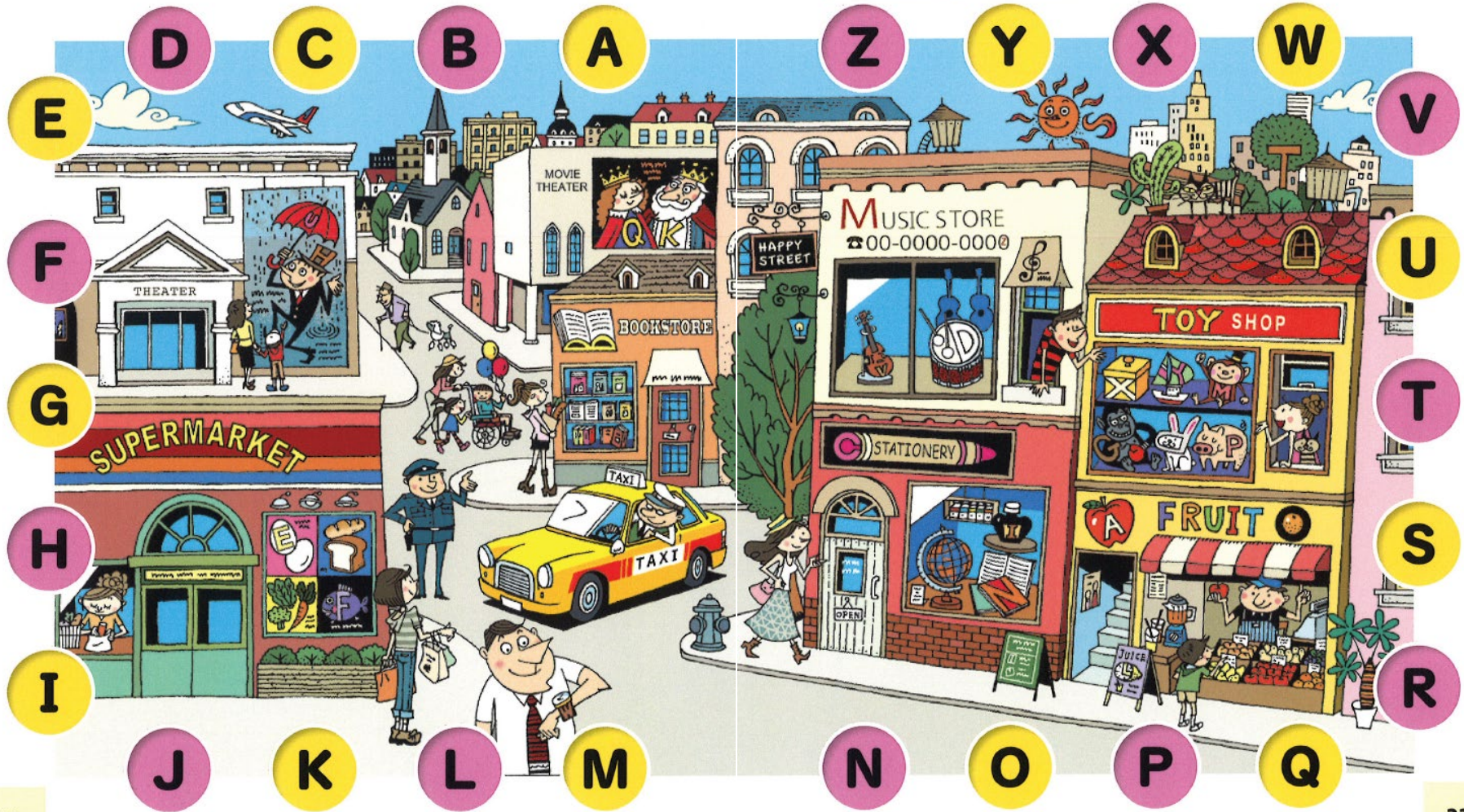
この目標では、英語の文字の名称の読み方に児童が気付くようにすることを求めたものであるが、**文字の名称の読み方を指導することは、身の回りの物を表す語句を指導することと同様**であることに留意する必要がある。例えば、k という文字の名称の読み方 (/kei/) を聞いてどの文字かが分かるようにすることは、red という色を表す語の発音を聞いて色を識別したり、apple という果物を表す語の発音を聞いてどの果物のことかが分かったりするように指導することと同様である。**明示的に文字の形を指導したり、英語の文字をアルファベット順に暗記させたりするのではなく、英語に初めて触れる段階であることから、児童が文字に対して興味・関心を高めるように、まず、身の回りに英語の文字がたくさんあることに気付かせるなど、楽しみながら文字に慣れ親しんでいくように、文字を扱うことが重要である。**また、この項目は、高学年の外国語科(2)「読むこと」ア「活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする」ことにつながるものである。

Let's Watch and Think

えいごを見て、アルファベットの大きい文字について知ろう。

Let's Sing

ABC Song



Unit 6 Alphabet



a

Let's Watch and Think

えいごうを見て、アルファベットの
小文字について知ろう。

b

c

d

e

f

g

h

i

j

k

l

m

n

o

p

q

r

s

z

y

x

w

v

u

t

Let's Sing

ABC Song

Let's Chant

Alphabet Chant



GAS STATION

Station

KOBAN
Police

POST

STOP

Flowers

Coffee Shop

Restaurant

CLOSED

Bakery

OPEN

Telephone

Let's Play

1 アルファベットさがしをしよう。

Let's Play

2 おはじきゲーム

高学年「外国語」領域ごとの目標

小学校学習指導要領(平成29年告示)「外国語」

(1) 聞くこと

- ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることが**できるようにする**。
- イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることが**できるようにする**。
- ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることが**できるようにする**。

(2) 読むこと

- ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することが**できるようにする**。
- イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が**分かるようにする**。

(3) 話すこと[やり取り]

- ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることが**できるようにする**。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことが**できるようにする**。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことが**できるようにする**。

(4) 話すこと[発表]

- ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことが**できるようにする**。
- イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことが**できるようにする**。
- ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことが**できるようにする**。

(5) 書くこと

- ア 大文字、小文字を活字体で書くことが**できるようにする**。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことが**できるようにする**。
- イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、**例文を参考に**、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことが**できるようにする**。

(2) 読むこと

ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。

この目標は、活字体で書かれた文字の形の違いを識別し、**文字を見てその名称を発音できること**を示している。英語の文字には、**名称**以外に、語の中で用いられる場合の文字が示す**音**がある。例えば、a や c という文字は、/ei/ や /si:/ という名称があると同時に、語の中では /æ/ (例: bag, apple) や /ei/ (例: station, brave), /s/ (例: circle, city) や /k/ (例: cap, music) という音をもっている。**この目標における「読み方」とは、音ではなく、文字の名称の読み方を指していることに留意**する必要がある。これは、中学年の外国語活動において、文字の読み方が発音されるのを聞いて、どの文字であるかが分かるようにすることが目標とされていることを踏まえてのものである。

イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

この目標は、中学年の外国語活動の「聞くこと」、「話すこと」の学習活動を通して、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにすることを示している。

日常生活に関する身近で簡単な事柄について、掲示、パンフレットなどから自分が必要とする情報を得たり、絵本などに書かれている簡単な語句や基本的な表現を識別したりするなど、言語外情報を伴って示された語句や表現を推測して読むようにすることを示している。

アで示したように、英語の文字には、名称と音がある。児童が語句や表現の意味が分かるようになるためには、当然のことながらその語句や表現を発音する必要があり、文字の音の読み方は、そのための手掛かりとなる。したがって、ここで示された目標に関して指導する際には、児童の学習の段階に応じて、語の中で用いられる場合の文字が示す音の読み方を指導することとする。その際、中学校で発音と綴りとを関連付けて指導することに留意し、小学校では音声と文字とを関連付ける指導に留めることに留意する必要がある。

Let's Watch and Think

映像を見て、どの人物のことがかを考えて、
() に番号を書こう。



()



()



()

Let's Listen

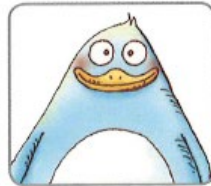
どの動物のことが、男の子のことがを聞いて、
() に番号を書こう。



()



()



()

Let's Listen

どの動物のことがを聞いて、() に番号を書こう。



()



()



()



()

Let's Play

2 ポインティング・ゲーム

Activity 1

下の絵から友だちにたずねたいことを五つ選び、
できるか・できないかを予想してインタビューしよう。

Activity 2

友だちにインタビューをして () にサインを
もらおう。

予想 回答	予想 回答	予想 回答	予想 回答	予想 回答
()	()	()	()	()

予想 回答	予想 回答	予想 回答	予想 回答	予想 回答
()	()	()	()	()

予想 回答	予想 回答	予想 回答	予想 回答	予想 回答
()	()	()	()	()



日本語と英語それぞれの
「音と文字の関係」

について知りましょう

best

dentist

green

happy

bread

listen

six

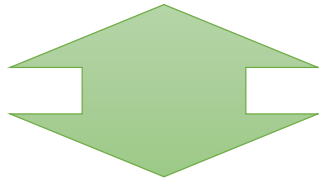
cake

アルファベットは「_____」のことです

アルファベットの文字にはそれぞれ「_____」があります

アルファベットの文字には「_____」がありますが、
一つの文字に一つの「_____」とは限りません

not, note / cat, cake / ceiling, acceptable, ...



日本語の仮名文字の場合は「_____」と「_____」が同じで、
一つの文字には一つの「_____」だけ

あ、か、さ、た、な、ば、ぱ、ぞ、ど、・・・

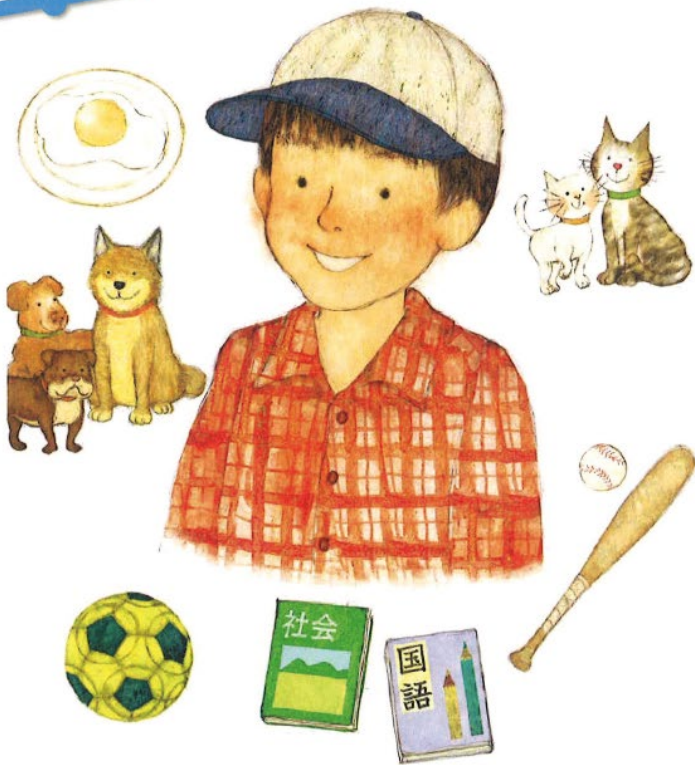
日本語と英語それぞれの 「文字と音の関係」の特徴

日本語 (_____ orthography (正書法が単純な語))

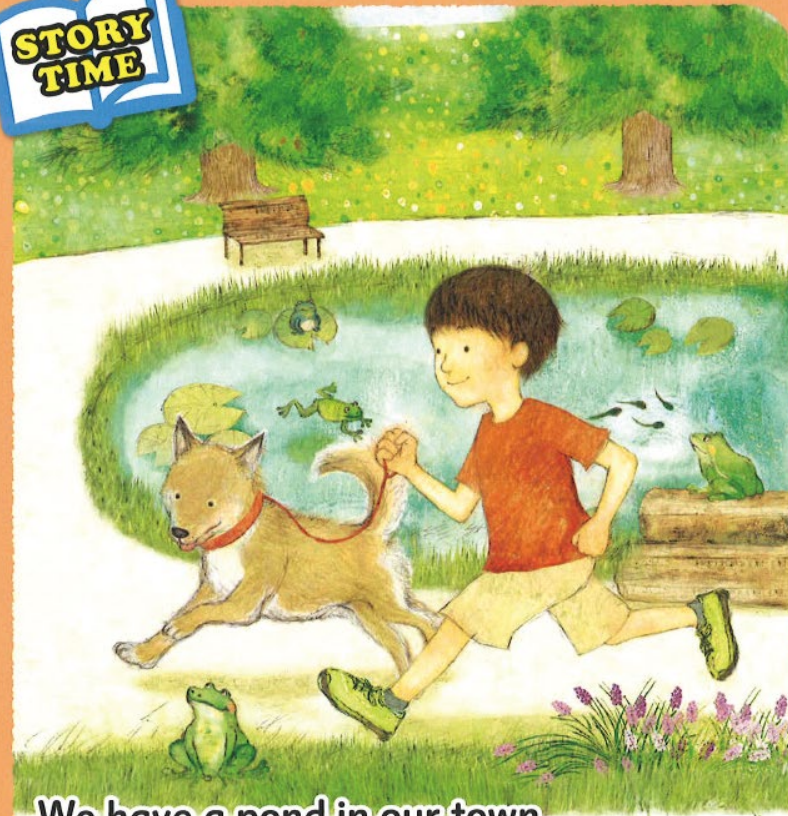
- 単語を構成する「文字」と「音」の数が同じ
= 仮名文字 (書記素) と音の対応が _____
- 日本語の音韻の最小単位は「モーラ (_____)」

英語 (_____ orthography (正書法が複雑な言語))

- 単語を構成する「文字」と「音」の数が必ずしも一致しない
= アルファベットの文字 (書記素) と音の対応が複雑で、
音の単位が大きさが様
- 音韻の最小単位は「音素」だが、それより大きな単位も



Hi, my name is Kazu.
I like cats and dogs.
I like soccer and baseball.





We have a pond in our town.
Frogs live in the pond.
I can see a big frog on a log.
I usually jog with my dog around the pond.
A big frog on a log and a jogging dog.



Sounds and Letters

A  **a** 
ant apple



B  **b** 
banana bear



C  **c** 
cat cow

D  **d** 
dog donut

E  **e** 
egg elephant

F  **f** **5**
fish five

G  **g** 
goat gorilla

H  **h** 
hat horse

I  **i** 
ink Italy



J  **j** 
jam jet

K  **k** 
king koala

L  **l** 
lemon lion

M  **m** 
milk monkey

N  **n** 
net notebook

O  **o** 
omelet onion

P  **p** 
pen pig

Q  **q** 
queen quiz

R  **r** 
racket red

S **7** **s** 
seven sun



T **10** **t** 
ten tiger


U  **u** 
umbrella up

V  **v** 
vest volleyball

W  **w** 
watch wolf

X  **x** 
box fox

Y  **y** 
yak yo-yo

Z  **z** 
zebra zoo

Alphabet Jingle

A a



apple

B b



bear

C c



cat

D d



dog

E e



elephant

F f



fan

G g



goat

H h



hat

I i



ink

J j



jam

K k



king

L l



lion

M m



milk

N n



net

O o



orange

P p



pen

Q q



queen

R r



racket

S s



sun

T t



ten

U u



up

V v



vest

W w



watch

X x



box

Y y



yo-yo

Z z



zebra

Animals Jingle

A a



ant

B b



bear

C c



cow

D d



dog

E e



elephant

F f



fish

G g



gorilla

H h



horse

I i



iguana

J j



jaguar

K k



koala

L l



lion

M m



monkey

N n



newt

O o



ox

P p



pig

Q q



quail

R r



rabbit

S s



seal

T t



tiger

U u



duck

V v



vulture

W w



wolf

X x



fox

Y y



yak

Z z



zebra

Z z



zoo

(2) 書くこと

ア 大文字,小文字を活字体で書くことができるようにする。また,語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

この目標は,大文字及び小文字を正しく書き分けること,語順を意識しながら,語と語の区切りに注意して,音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにすることを示している。

文字を書く指導に当たり,大文字,小文字を活字体で書かせる際には,「a, c, e」,「f, l」,「g, y」など文字の高さの違いを意識させたり,「p, q」,「b, d」など紛らわしい形などを意識させたりするなど,指導の工夫をする必要がある。また, Aa からアルファベット順に指導すべきものと考えのではなく,どの文字から書く指導をした方が児童にとって効果的であるかを考えることも大切である。例えば, A, H, I などの左右対称の文字, Cc, Jj, Kk などの大文字と小文字の形がほぼ同じ文字等,文字の形の特徴を捉えて指導するなど工夫することが大切である。

(2) 書くこと

ア 大文字,小文字を活字体で書くことができるようにする。また,語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

...

また,「語順を意識しながら」としたのは,“Sakura pushed Taku.”を,“Taku pushed Sakura.”と語の順序を替えれば,意味が大きく異なってしまうように,英語では意味の伝達において語順が重要な役割を担っているからである。なお,児童に英語の文構造を理解させるために,語の配列等の特徴を日本語との比較の中で捉えて指導を行うことも有効である。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、**例文を参考に、**
音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を
用いて書くことが**できるようにする。**

この目標は、英語で書かれた文、又はまとまりのある文章を参考にして、
その中の一部の語、あるいは一文を自分が表現したい内容のものに置き
換えて文や文章を書くことができるようにすることを示している。
例えば、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど自分に関する事柄について、英
語で書かれた文、又はまとまりのある文章の一部を、例示された語句、あ
るいは文の中から選んだものに置き換えて、自分に関する文や文章を書く
活動が考えられる。その際、例示された中に児童の表現したい語句、又は
文がない場合は、指導者が個別に書きたい語句を英語で提示するなど、
児童の積極的に書こうとする気持ちに柔軟に対応する必要がある。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体性
読むこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音する技能を身に付けている。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かるために必要な技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、活字体で書かれた文字を識別し、その読み方(名称)を発音している。音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を読んで意味が分かっている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読んで意味を分かろうとしている。</p>
書くこと	<p>[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。</p> <p>[技能] 実際のコミュニケーションにおいて、大文字、小文字を活字体で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする技能を身に付けている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書く技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、大文字、小文字を活字体で書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりしている。自分のことや身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書いている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。</p>

「書くこと」(知識・技能)(思考・判断・表現)の評価例(第7時)

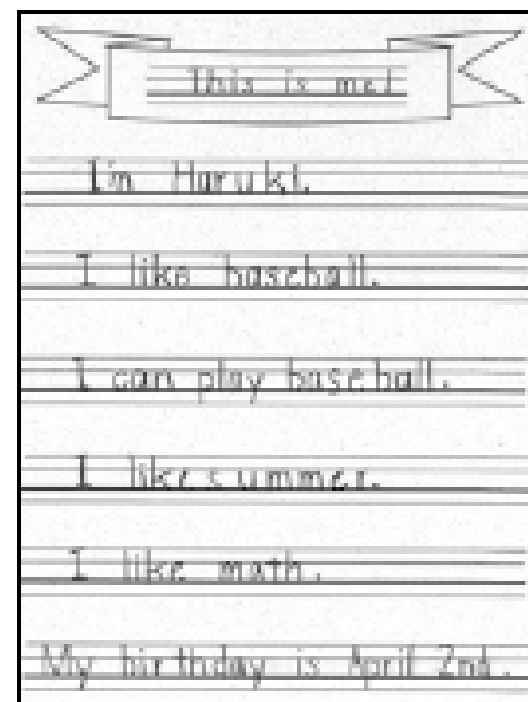
評価場面	Activity 活動内容: 前時までのLet's Read and Writeで書きためてきたもの等を参考に、ワークシートに自己紹介文を書く。
評価方法	行動観察、ワークシート記述分析



児童1のワークシート



児童2のワークシート



児童3のワークシート

児童 1

児童 2

児童 3

知識・技能

思考・判断・表現
